

尚絅オープンユニバーシティ「学習予定表」

講座コード 1611A	講座名 発達障害のある子どもの理解と支援 前期 インクルージョンと合理的配慮の時代の到来を迎えて	難易度 ★★☆☆☆ (レベル2)
曜日	木曜日	時間 13:30~15:00
場所	尚絅学院大学 地域連携交流プラザ	受講料 12,000 円
講座形式	対面形式	定員 (最少催行人数) 20 名 (8 名)
教材	毎回、講師準備のプリントを配布します。	
講座内容	<p>特別な配慮を要する子ども（たち）の子育て・保育・教育に関心のある方を想定して、尚絅学院大学の子ども学類で行なっている授業をお裾分けする形で講義を行います。</p> <p>子どもの一般的な成長・発達の過程、障害の種類・発生頻度・原因等々について理解を深め、支援のあるべき姿について探ります。 講義は対面で行いますが、気づきや疑問を共有するために、ミニッツペーパー（講義を受けての感想、気づき、疑問）を積極的に利用します。</p>	
スケジュール	学習内容	
第1回 5/18	1) 講師紹介の後、講義予定についての説明します。 2) 障害とは①：「障害」という言葉を吟味し、「差別用語」について考えてみましょう。 3) 障害の種類、発生頻度、原因等について理解を深める。	
第2回 5/25	障害とは② 1) 障害理解の歴史的変遷をたどり、インクルージョンと合理的配慮の時代の到来を意識しましょう。 2) 出生前診断について考えてみましょう。	
第3回 6/1	「学習性無力感」を示す子どもから学ぶ（事例紹介）	
第4回 6/8	発達障害（=神経発達症）とは① 下記に示すさまざまな発達障害について概観します。 ・知的能力障害群（知的障害） ・コミュニケーション症群／コミュニケーション障害群（吃音など） ・自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（A S D） ・注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（A D H D） ・限局性学習症／限局性学習障害（ディスレクシアなど、いわゆる「学習障害（L D）」） ・運動症群／運動障害群（発達性協調運動障害、チックなど） ・他の神経発達症群／他の神経発達障害群	



尚絅オープンユニバーシティ「学習予定表」

第5回	6/15	発達障害（≒神経発達症）とは② 下記に示すさまざまな発達障害について概観します。 ・知的能力障害群（知的障害） ・コミュニケーション症群／コミュニケーション障害群（吃音など） ・自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害（A S D） ・注意欠如・多動症／注意欠如・多動性障害（A D H D） ・限局性学習症／限局性学習障害（ディスレクシアなど、いわゆる「学習障害（L D）」） ・運動症群／運動障害群（発達性協調運動障害、チックなど） ・他の神経発達症群／他の神経発達障害群
第6回	6/22	A S D の基礎的理解① A S D の子どもの共通の特徴と個々に多様な特徴について理解を深めます。
第7回	6/29	A S D の基礎的理解② A S D の子どもの保育実践に学ぶ～「共感」の重要性について考察する～①
第8回	7/6	A S D 児に対する支援① A S D の子どもの保育実践に学ぶ～「共感」の重要性について考察する～②
第9回	7/13	A S D 児に対する支援② A S D の子どもの保育実践に学ぶ～「共感」の重要性について考察する～③
第10回	7/20	前期のまとめ～振り返りと後期に向けて～ 1) 発達障害児に対する種々の療育アプローチがある中での「熱心すぎる支援」に潜む危険性について、事例（A S D 児を抱える母親の経験）をもとに考えます。 2) 後期の講義予定について
講師から		
講義では、特別な配慮をする子どもを理解し、支えようとする時の大切にすべき視点、考え方について学ぶ機会としています。「抱えている具体的な問題に対しての解決策、処方箋」を期待する方にはご満足いただけないかもしれません（尚絅学院大学発達支援センターのような問題解決のための専門機関を紹介することになると思います）。 共に学び、考えましょう。		
修了要件	80%以上出席した方に、修了証を発行予定です。	
関連するSDGs	3. すべての人に健康と福祉を　4. 質の高い教育をみんなに　10. 人や国の不平等をなくそう	